



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 極洋
コード番号 1301 URL <http://www.kyokuyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今井 賢司
問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 木山 修一

TEL 03-5545-0703

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	52,206	4.1	467	70.8	380	△22.7	551	74.0
28年3月期第1四半期	50,168	3.1	273	△14.4	492	26.4	316	41.8

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 459百万円 (△28.8%) 28年3月期第1四半期 645百万円 (51.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	5.25	4.84
28年3月期第1四半期	3.02	2.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	101,632	22,995	22.2
28年3月期	94,608	23,065	23.9

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 22,525百万円 28年3月期 22,578百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	5.00	5.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成28年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期(予想)の1株当たりの年間配当金は5円となります。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	117,000	7.8	1,400	24.3	1,300	△7.6	800	△12.2	7.62
通期	244,000	7.7	3,500	43.8	3,300	17.2	2,100	16.7	199.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成29年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	109,282,837 株	28年3月期	109,282,837 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	4,251,389 株	28年3月期	4,251,175 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	105,031,590 株	28年3月期1Q	105,030,738 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.当社は平成28年6月24日開催の第93期定時株主総会において、平成28年10月1日を効力発生日とする株式併合(普通株式10株につき1株の割合で併合)について承認可決されております。併せて同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株への変更)を実施する予定です。なお、株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下の通りです。

(1)平成29年3月期の配当予想

1株当たり配当金 期末 5円00銭

(2)平成29年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 19円99銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P4
(4) 追加情報	P4
3. 四半期連結財務諸表	P5
(1) 四半期連結貸借対照表	P5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P9
(継続企業の前提に関する注記)	P9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P9
(セグメント情報等)	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、株価や為替の不安定な動きを背景に、企業収益や個人消費の低迷が見られるなど、景気の先行きは不透明な状況となっております。

水産・食品業界におきましては、食の安心・安全に対する消費者の関心が一層高まるとともに、少子高齢化による国内マーケット環境の変化や人手不足による労働コストの上昇に加え、世界的な水産物需要の増大による買付コストの上昇など、厳しい状況は続いております。

このような状況のもとで、中期経営計画『バリューアップ・キョクヨー2018』が2年目に入り、『魚に強い総合食品会社として、収益基盤の安定と変化への対応力を高め、新たな価値を創造する企業を目指す』ことを基本方針とし、目標達成に向けて取り組んでおります。

セグメント別の業績は次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更を行っており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に基づいています。詳細は、3. 四半期連結財務諸表(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)Ⅱ当第1四半期連結累計期間の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

(水産商事セグメント)

前年同期に市況の悪化で売上・利益が大きく落ち込んでいた鮭鱒の販売が、当期は市況が堅調に推移したこともあり、売上・利益とも例年並みに回復しました。また、サバなどの凍魚加工品や定塩鮭製品、ホタテ加工品等の販売が伸長したほか、昨年開設したロサンゼルス営業所の米国内販売が順調に推移しました。その結果、この部門は売上・利益ともに前年同期を上回りました。

(冷凍食品セグメント)

エビなどの寿司種を中心とした生食用商品及び『だんどり上手』シリーズなどの加熱用商品に加え、アジフライなどの水産フライやカニ風味かまぼこの拡販に努めました。また『シーマルシェ』商品を中心とした家庭用冷凍食品は、塩釜新工場で製造したお弁当惣菜を中心に販売が伸長しました。国内消費の低迷などにより、この部門の売上は前年同期並みに止まりましたが、利益は海外生産部門の収支改善により、前年同期を上回りました。

(常温食品セグメント)

サバやイワシなどの水産缶詰の拡販に努めるとともに、価格改定や商品集約等、利益率の改善を図りました。また、海産珍味類は大手コンビニ向け製品を中心に順調に推移しました。その結果、この部門は売上・利益ともに前年同期を上回りました。

(物流サービスセグメント)

冷蔵倉庫事業は、入庫貨物の確保を図り、引き続き営業力強化と事業の効率化に努め、売上・利益ともに前年同期を上回りましたが、冷蔵運搬船事業において海運市況の悪化により売船を含めた事業の見直しを進めた結果、この部門は売上・利益ともに前年同期を下回りました。

(鯉・鮪セグメント)

海外まき網事業は、入漁料の高止まりなど経費増はあったものの、魚価が前年同期を上回り、収支が改善しました。加工及び販売事業は、地中海本鮪やインド鮪等の取扱いが伸長したことに加え、昨年設立した指宿食品㈱で製造したカツオタタキ製品の拡販を図りました。養殖事業は、漁場や漁獲規制が厳しくなる中、天然種苗の確保を図るとともに、来年度の完全養殖魚初出荷に向けて、養殖技術の蓄積に努めました。その結果、この部門は売上・利益ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は522億6百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益は4億67百万円(前年同期比70.8%増)、経常利益は3億80百万円(前年同期比22.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億51百万円(前年同期比74.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ70億24百万円増加し、1,016億32百万円となりました。

流動資産は、たな卸資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ71億5百万円増加し、775億32百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ81百万円減少し、241億円となりました。

負債合計は、借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ70億94百万円増加し、786億36百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ70百万円減少し、229億95百万円となりました。

この結果、自己資本比率は22.2%(前連結会計年度末比1.7ポイント減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期及び通期の連結業績予想に関しましては、先行きは不透明であります。平成28年5月9日に公表した業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

従来、一部の国内連結子会社の建物付属設備及び構築物について、定率法を採用しておりましたが、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物付属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,099	3,723
受取手形及び売掛金	24,759	26,503
たな卸資産	37,068	43,418
その他	4,524	3,912
貸倒引当金	△25	△24
流動資産合計	70,426	77,532
固定資産		
有形固定資産	16,972	16,997
無形固定資産		
のれん	410	396
その他	497	500
無形固定資産合計	907	896
投資その他の資産		
投資有価証券	2,830	2,745
その他	5,167	5,212
貸倒引当金	△1,695	△1,752
投資その他の資産合計	6,301	6,206
固定資産合計	24,181	24,100
資産合計	94,608	101,632

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,545	9,954
短期借入金	14,562	19,923
コマーシャル・ペーパー	10,000	10,000
未払法人税等	648	130
引当金	840	435
その他	7,238	7,466
流動負債合計	40,835	47,910
固定負債		
新株予約権付社債	3,000	3,000
長期借入金	22,177	22,560
引当金	50	59
退職給付に係る負債	4,654	4,588
資産除去債務	53	53
その他	771	464
固定負債合計	30,707	30,726
負債合計	71,542	78,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	750	750
利益剰余金	17,739	17,765
自己株式	△748	△748
株主資本合計	23,405	23,431
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127	25
繰延ヘッジ損益	△96	△112
為替換算調整勘定	282	272
退職給付に係る調整累計額	△1,140	△1,091
その他の包括利益累計額合計	△827	△906
非支配株主持分	487	470
純資産合計	23,065	22,995
負債純資産合計	94,608	101,632

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	50,168	52,206
売上原価	45,304	46,950
売上総利益	4,863	5,255
販売費及び一般管理費	4,590	4,788
営業利益	273	467
営業外収益		
受取利息	11	7
受取配当金	47	48
持分法による投資利益	2	58
補助金収入	9	45
貸倒引当金戻入額	203	—
その他	94	46
営業外収益合計	368	205
営業外費用		
支払利息	97	100
為替差損	48	107
貸倒引当金繰入額	—	68
その他	3	15
営業外費用合計	149	292
経常利益	492	380
特別利益		
固定資産処分益	0	431
特別利益合計	0	431
特別損失		
固定資産処分損	1	9
特別損失合計	1	9
税金等調整前四半期純利益	490	801
法人税、住民税及び事業税	54	100
法人税等調整額	162	181
法人税等合計	216	282
四半期純利益	273	519
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	316	551
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△43	△31

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	187	△101
繰延ヘッジ損益	36	△16
為替換算調整勘定	116	9
退職給付に係る調整額	30	48
その他の包括利益合計	371	△59
四半期包括利益	645	459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	670	472
非支配株主に係る四半期包括利益	△25	△12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鰹・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	22,469	15,592	4,538	855	6,525	186	50,168	—	50,168
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,380	870	51	226	510	297	8,337	△8,337	—
計	28,849	16,463	4,590	1,082	7,035	484	58,505	△8,337	50,168
セグメント利益又は損失(△)	329	△54	80	124	△61	50	467	△194	273

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額194百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用208百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鯉・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	25,273	15,304	4,616	372	6,553	85	52,206	—	52,206
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,738	889	58	389	479	362	7,918	△7,918	—
計	31,012	16,194	4,674	761	7,032	448	60,124	△7,918	52,206
セグメント利益又は 損失(△)	548	5	91	△27	15	27	661	△194	467

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額194百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用221百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の管理区分を見直したことに伴い、従来「水産商事」に属しておりましたKyokuyo (Thailand) Co., Ltd.を「冷凍食品」セグメントの区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。